

【様式3】

赤字で記載している留意事項、説明文等を削除のうえ、本様式に直接入力して作成してください。

令和6年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業 構想補足

法人名：△△大学法人△△
 大学名：○○○○○○大学

(1) 関連事業との整理

- (ア) 大学が組織全体として、どのような事業の予算を獲得し、相乗効果を発揮して強みを伸ばしていく計画であるか、主要な用途と効果について、事業毎に下表に記載すること。
- (イ) 記載されている事業による支援の獲得がない、あるいは予定がない場合、本様式は提出不要。ただし、事業名を修正あるいは列を追加して、地域中核・特色ある研究大学総合振興パッケージ（CSTI本会議令和4年2月決定、令和5年2月改定、令和6年2月改定）に含まれるその他の事業との整理を記載することは妨げない。
- (ウ) 【様式2】構想調書における「羅針盤」の観点と指標を参考に、それぞれの事業における主要な用途と効果を具体的に記載すること。なお、整理しやすい適切な観点や項目で記載し（すべて「羅針盤」の観点と指標に沿った記載とする必要はない。）、関連する取組は行ごとにまとめ、関連しないものは別の行で記載すること。

事業 観点	本事業 地域中核大学イノベーション創出環境強化事業	文部科学省 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業 獲得年度（令和○年）/令和6年度申請予定	文部科学省 地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業 獲得年度（令和○年）	文部科学省 国立大学改革・研究基盤強化推進補助金 獲得年度（令和○○年）
例：地域貢献	強みである○○分野に係る地域企業との連携を推進するURAの増員し、羅針盤の指標○○を○○にする。 （人件費○○円程度）	URA全体をマネジメント可能なマネージャークラスの人材を獲得し、羅針盤の指標○○を○○にする。 （人件費○○円程度）		令和○年に大学初となるURAを○人確保し、共同研究費獲得額を○件○○円から○件○○円に増加を加速させた（人件費○○円）

【様式3】令和6年度地域中核大学イノベーション創出環境強化事業 構想補足

(全体に係る留意事項)

- それぞれの項目について、具体的かつ簡潔に記載すること。
- 補足説明用に、他事業との関連性や全体像などを図表、グラフ、ポンチ絵（A4サイズで印刷した際、文字が見えやすい大きさとする。）を作成、添付することも可とし、それも含めた構想補足全体として A4 二枚以内 とすること。
- 採択後、本構想調書は公表されることを考慮し、掲載する情報を整理・把握しておくこと（公表前に具体の企業、個人名、契約締結やその金額等の機微情報を修正、削除する機会はあるが、その際に修正・削除部分を適切に判断できるようにすること）。

(書式等に係る留意事項)

- フォントサイズは 11ポイント以上 とし、書体は 明朝体（英数字は Century） で統一すること。
- ページが複数となる場合は、総ページ入りのページ番号を入れること。